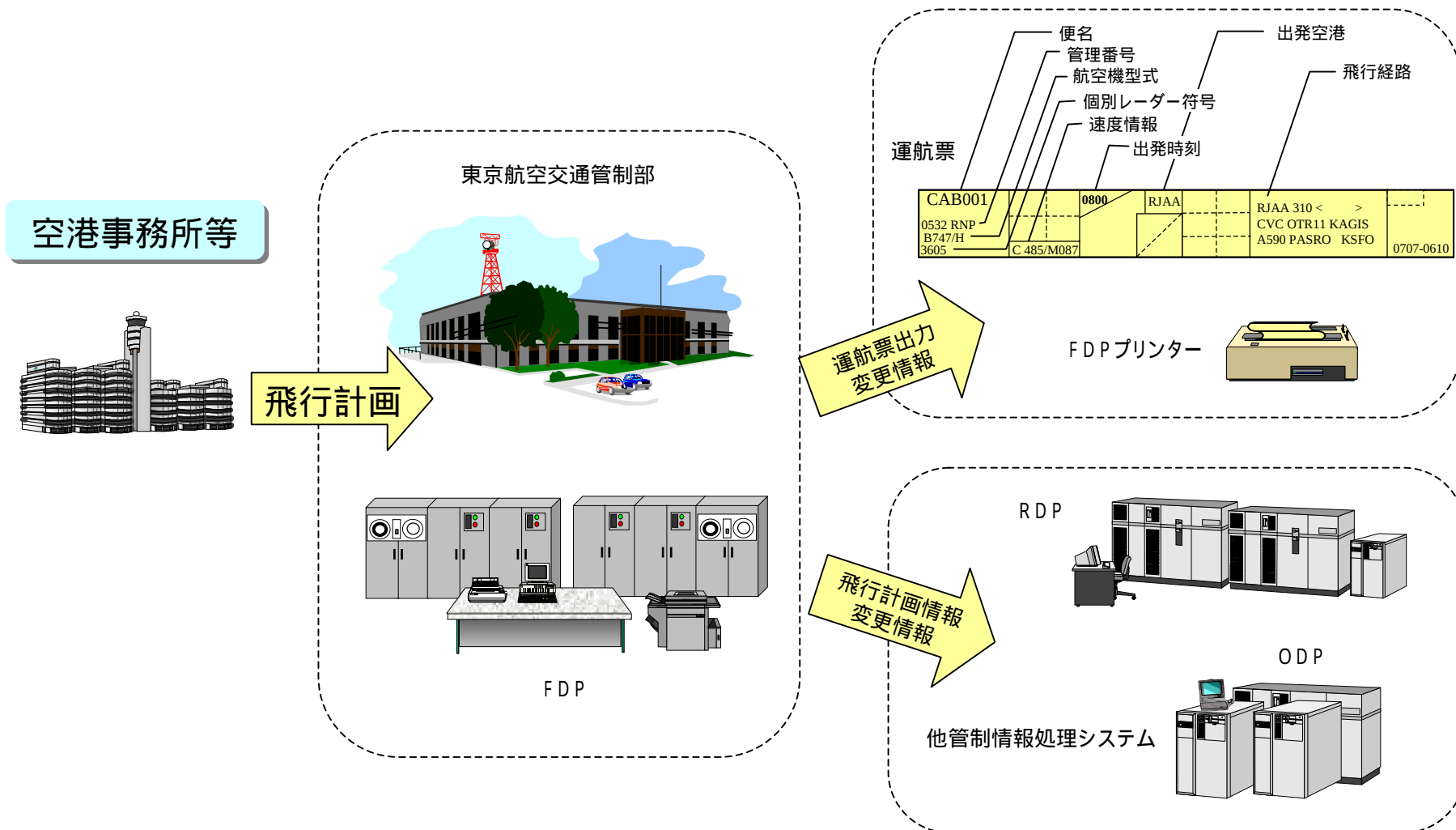


(7) 管制情報処理システム

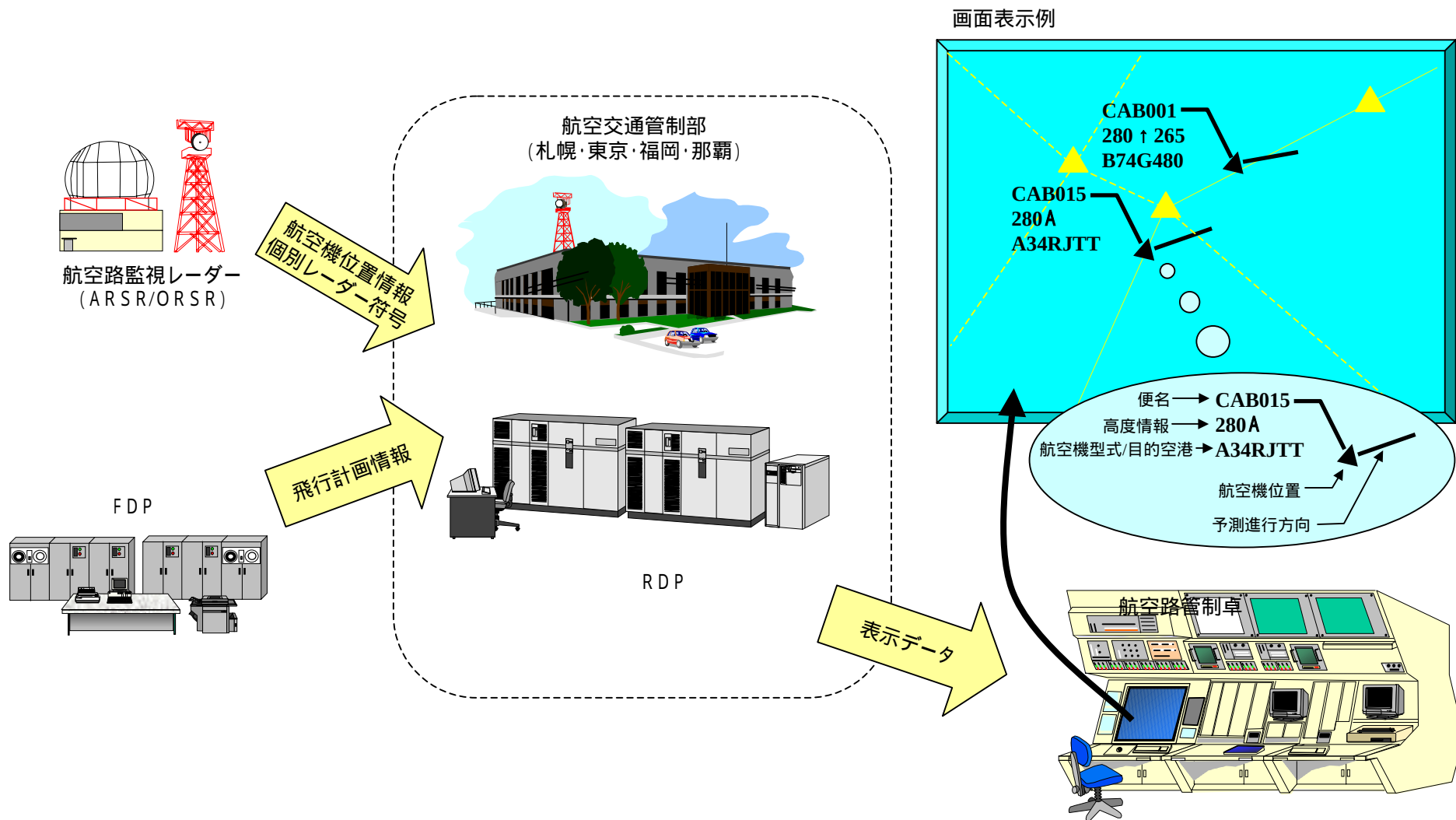
FDP (Flight Plan Data Processing system: 飛行計画情報処理システム)

東京管制部に設置された大型電子計算機によって 飛行計画報、出発報等、航空機の運航に関する情報を自動的に受信し集中的に処理を行い、運航票等管制に必要な資料をプリンター及び表示装置によって管制官に提供するとともに、他の管制情報処理システムに対して必要な飛行計画の情報を送信するシステム。



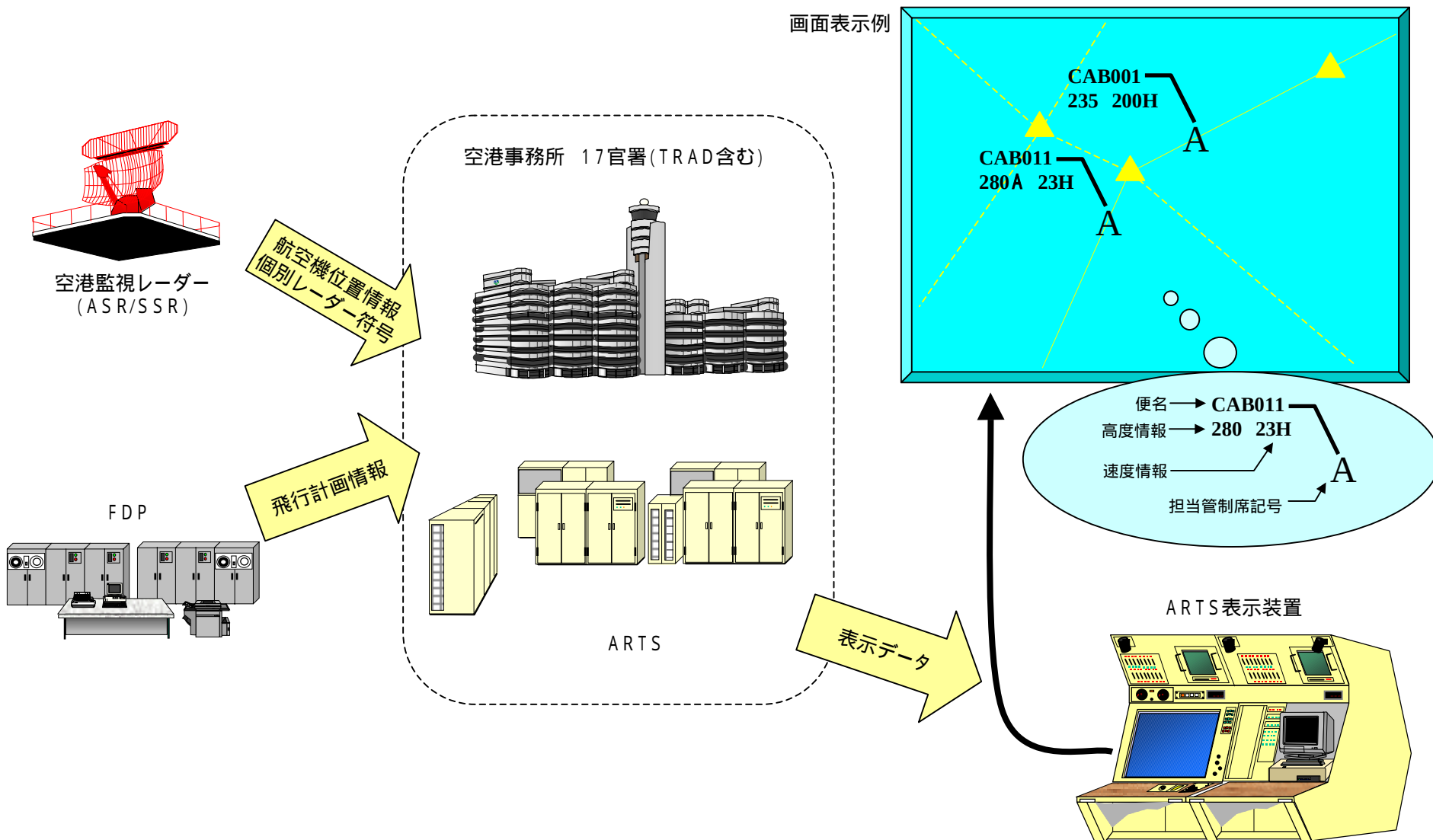
RDP (Radar Data Processing system : 航空路レーダー情報処理システム)

全国20ヶ所の航空路監視レーダーの情報とFDPからの飛行計画情報を照合し、各管制部の各管制卓に設置された表示装置(レーダー・スコープ)上に航空機の位置を示すシンボルに加えて英数字により便名等の情報を表示するシステム。



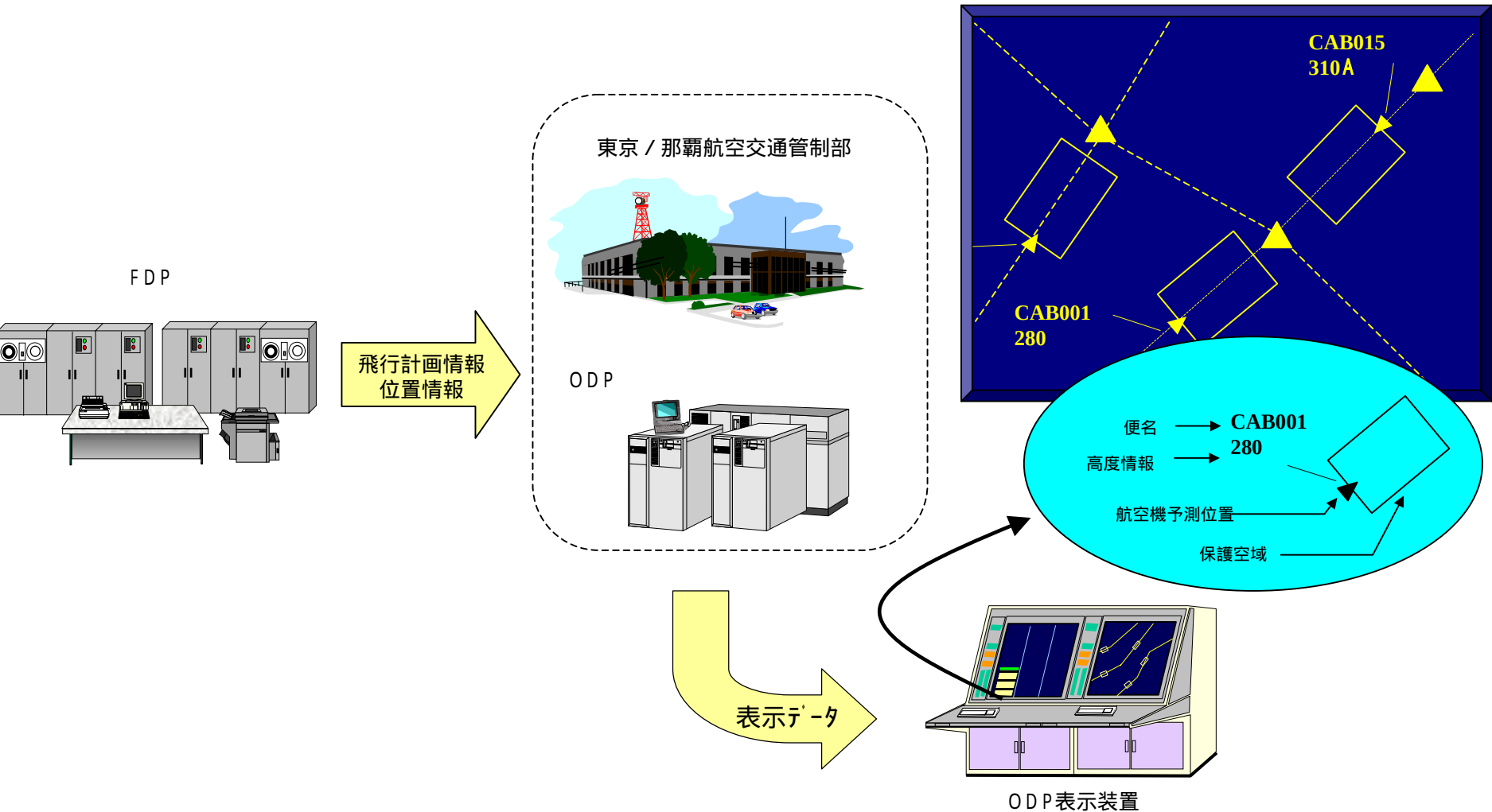
ARTS (Automated Radar Terminal system:ターミナルレーダー情報処理システム)

空港監視レーダーの情報とFDPからの飛行計画情報を照合し、ターミナル管制所の管制卓に設置された表示装置上に航空機の位置を示すシンボルに加えて、英数字により便名等の情報を表示するシステム。



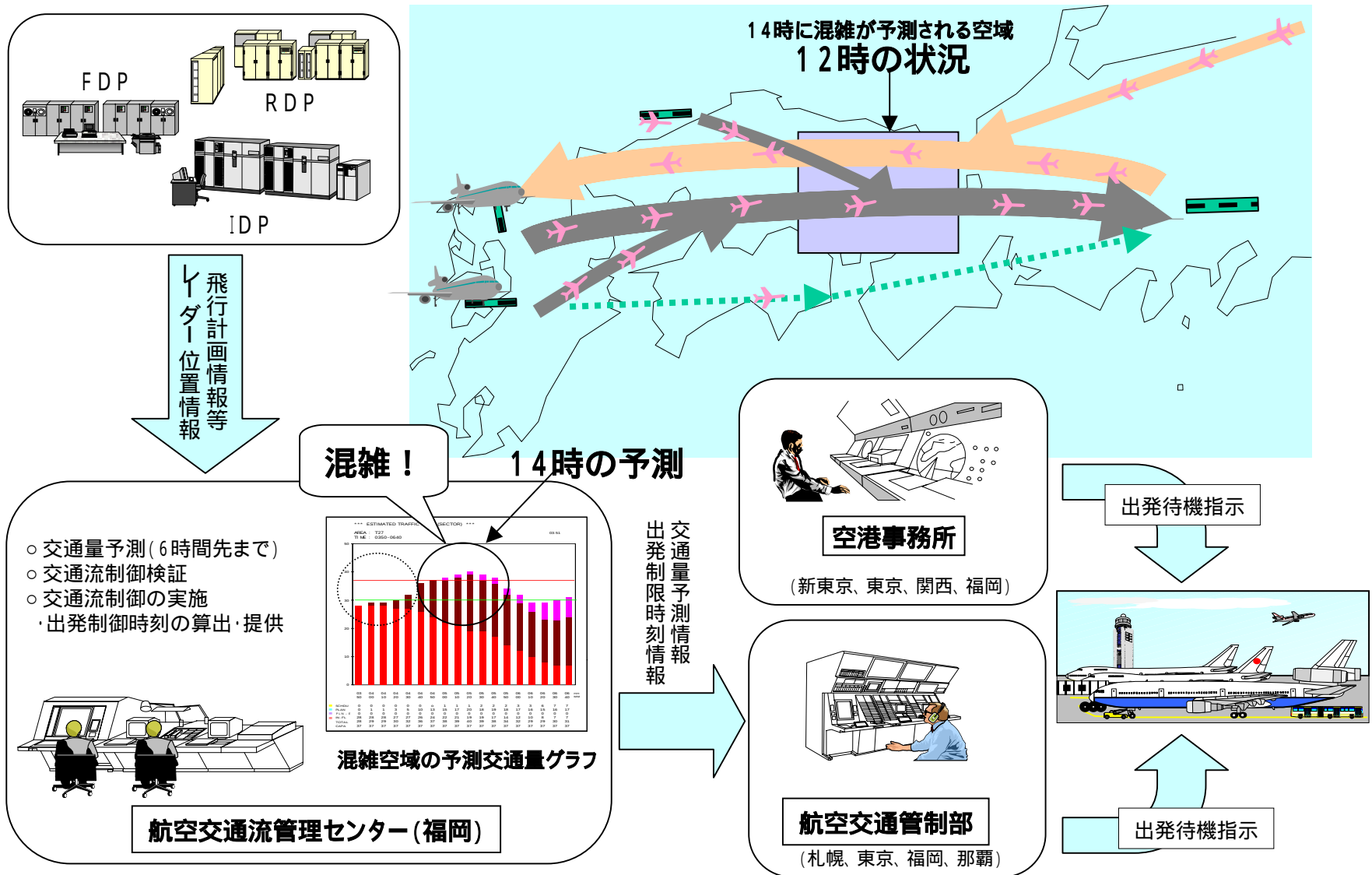
ODP (Oceanic Air Traffic Data Processing system: 洋上管制データ表示システム)

東京及び那覇管制部に設置された電子計算機を使用して太平洋上の広大な航空路監視レーダー覆域外空域を飛行する航空機の位置を予測計算し、その交通状況及び衛星からの航空機位置情報を表示装置に表示するシステム。



ATFM (Air Traffic Flow Management system: 航空交通流管理システム)

福岡の航空交通流管理センターに設置され、特定の航空路や空港に航空機が過度に集中するのを未然に防止するため、RDPからのレーダー情報、FDPからの飛行計画情報及びIDPからの航空情報等に基づき、適正な航空交通量の予測を行うシステム。



スポット総合調整サブシステム

航空交通流管理センターに設置された電子計算機を使用して、全国のCADIN端末及びエプロン管理システムから各空港単位でスポット運用状況等に関わる情報を収集するとともに、フローコントロール情報を関係機関等へ提供することにより、航空交通流管理業務に係る支援を行うシステムである。

